

明治大学校友会 東京都多摩支部

多摩市地域支部



紫紺



(第17号)

発行 明治大学校友会東京都多摩支部多摩市地域支部 発行日 令和5年3月1日
発行人 中山 雅雄

支部長新春のご挨拶

設立10周年を迎えて



支部長
中山 雅雄
(S37 法)

明治大学校友会多摩市地域支部が設立されて今年には10周年になります。校友の皆様とともに心からお祝いし、喜びを共にいたしたいと思っています。

設立10周年を振り返ってみますと、この3年余りにわたるコロナ禍を抜きにしては語れません。設立後7年間、活動を通じて校友の皆様にご当地域支部の存在を理解して頂き軌道に乗り始め、今後を期待できる矢先のコロナ禍でありました。

校友の皆様との会合、懇親等が全て延期、中止となり、まさに沈痛な時を迎えてしまいました。しかし、コロナ禍に負けるものかと、総会等については書面開催として継続し、また会報誌も発行回数に限度がありましたが続刊し、校友の皆様との接点を続けさせていただいております。

再び、これまで通りの校友会活動が行えるようになり、皆様とお会いできる日が来るのを心から待ちたいと思います。

また、記録として残すべく、小冊子「創立10周年のあゆみ」を2021年より準備しております。皆様にお届けできることを本当に嬉しく思っています。

さて、この10年の節目を迎えるにあたり、何といたっても当地域支部を立ち上げるための設立準備の集まりが懐かしく思い出されます。準備が始まったのは1年前。東京都多摩支部（多摩地域全域）から地域支部設立の声掛けがあり、校友会の在り方から校友会の組織、多摩市在任の校友への呼びかけ方法等の準備会合が積極的に開催されました。一からの校友会立ち上げを学び、苦しみながらの当地域支部設立が成る喜びに沸いたときでもありました。

中でも、当時の東京都多摩支部長西山強氏の多摩地域全域への校友会地域支部設立に向けた情熱には本心に心から敬服いたしました。多摩市地域支部があるのは西山氏のお力添えの賜物と心から感謝いたします。

初代支部長に故岩淵義郎氏（2021年逝去）が就任しスタートした

当地域支部は、先ず校友の親睦を図ることを重点に、春の桜見会、校友の経営する農場の箭狩り、多摩市に広がる緑の中の散策会等の行事を実施してきました。また、未加入の校友への入会案内活動を続けており、現会員が居住地別にグループを作つて訪問するなど地道な活動を続けてまいりました。しかし、まだまだ多くの未加入の校友がおられ勧誘活動は続けていかなければならないと思っております。

さらに校友会による地域貢献をと、マンドリン倶楽部OB会に在籍する校友に力添えをいただき、4年前にパルテノン多摩小ホールでマンドリン演奏会を開催しました。その後マンドリン演奏会は、パルテノン改修工事が始まり、コロナ禍に襲われて、現在も再開の見通しが立っておりません。定員300名全席満席の大盛況が懐かしく思い出されます。

最後に、明治大学校友会多摩市地域支部は「校友のため、地域のため」に貢献できる校友会を目指して、校友会の在り方を追求しながら、再び力強く歩み出したいと思っております。どうか校友の皆様にあつては、ご健勝で今後ますますご活躍されますことを心から願つて10周年を迎えてのご挨拶といたします。

会員活動便り

○「子ども大学たま」新年度学生を募集します

森田一毅 (H14理工)

多摩市近郊の子どもたちの知的好奇心を育むために、大学教授や様々な専門家が学びの場を提供する小学校4年生から6年生を対象にした大学「子ども大学たま」。

有志とともにクラウドファンディングなどで資金集めや開催場所探し、多摩市教育委員会の後援依頼などに奔走してなんと一昨年に開学した「子ども大学たま」は、第二期の全授業と修了式を2月19日(日)に終えることができました。

第一期は新型コロナウイルスがまん延しており、多摩市近郊にある大学の教室を使用することができずオンライン開催となりましたが、第二期である今期は落ち着いてきたこともあり、百合合女子大学(最寄り駅:仙川駅)で対面開催を実現できました。改めて今期の授業を振り返ります。

第一回授業は眞榮城和美先生に心理学とはどんな学問かを講義して

いただきました。学生は3つのグループに分かれいくつかの実験をし、実験の結果からの仮説・検証を繰り返すという現代科学の基本を学びました。



第二回授業は浅田稔先生にこれまで造ったロボットの紹介、そしてひとつとロボットの大きな違いである「心」をテーマに研究してきた成果を披露していただきました。

第三回授業は学生が東京都埋蔵文化財センターに収蔵されている文化財を



際に目や手に触れながら塚田清啓先生に説明をしていただきました。そして最後に縄文人がどのような生活をしていたのかを学生がグループ発表するという双方向授業を行いました。

第四回授業は中村安秀先生に前半は日本で発明された母子手帳が海外に広がっていったこれまでの歴史を話していただき、後半は母子手にこんな内容や機能が追加されたらいいなというものを学生同士がグループディスカッションし、発表いたしました。

最終授業は学長である榎原洋一先生にある「人の身体への秘密」について学生へクイズ形式でいくつかの質問をしていただき、解答から学生は病気の原因や症状について理解を深めました。

さて、「子ども大学たま」は2023年度(第三期)学生を募集します。授業料は無料(年間の資料代として5千円を頂戴いたします)

で、新年度も百合合女子大学の教室で講義を開催いたします。

講義予定は左表のとおりです。

4月1日(土)から申込開始いたしますので、ご興味があれば「子ども大学たま」のホームページ(<http://tamakodomo.main.jp/>)から是非ともお申込みください。

第1回授業	6月11日(日)
テーマ	「宇宙は行く時代から住む時代へ」
講師	的川泰宣氏 宇宙航空研究開発機構(JAXA) 名誉教授、はまぎんこども宇宙科学館館長
第2回授業	7月30日(日)
テーマ	「あなたの夢をかなえる方法を手に入れてみませんか」
講師	崎国司氏 オービス・インベストメンツ株式会社代表取締役
第3回授業	10月15日(日)
テーマ	「免疫(めんえき)ってどういうこと?」
講師	小林美由紀氏 小児科医、白梅学園大学教授
第4回授業	1月28日(日)
テーマ	「電気・・・私使う人? 私作る人?」
講師	北村雅良氏 J-POWER特別顧問、財カーボンフロンティア機構会長、財カーボンリサイクルファンド副会長
第5回授業	2月25日(日)
テーマ	「君はものにさわったことがありますか? ~哲学って何なんだ~」
講師	大橋容一郎氏 上智大学名誉教授、放送大学客員教授

TOPIX

(年末年始の明大の活躍)

ラグビー伝統の一戦観戦

矢場岩男(S43年商卒)

今回で98回目となる伝統の「明早戦」は12月4日、晴天に恵まれ気温17度、3万6千人超の観戦のもと、国立競技場で行われました。明大が開始早々テンポの速い攻撃で攻め込んで、2分センターの斎藤蒼哉選手のトライで先制しました。さらに、キャプテン石田吉平選手のトライなどで、一時は21対0とリードしましたが、早大に2つのトライを返されて、21対14で前半を折り返しました。

明大は後半も開始3分に斎藤選手が相手のパスをインターセプトしておよそ50メートルを走り切ってトライを奪い、リードを広げました。このあと、再び7点差に迫られましたが、34分に途中出場の池戸将太郎選手が相手のデフェンスを振り切ってトライを決めて突き放し、35対21で勝ちました。

これで通算の対戦成績は、明大の41勝55敗2分けとなりました。関東大学対抗戦は、帝京大が12月

3日慶大に勝って7戦全勝で優勝し、明大が6勝1敗で2位、早大が5勝2敗で3位となりました。多摩支部72名、うち多摩市地域支部1名が応援観戦しました。



第98回明早戦
国立競技場

○第99回箱根駅伝

1月2日(月)～1月3日(火)

峯岸正己(S63年工)

東京箱根間往復大学駅伝競争が行われました。今年も予選会からのスタートとなった明治。1区は思った以上にスロースタート。どのチームも牽制しあっていたが、学連選抜の選手が抜け出すも、どのチームも暫く牽制状態。満を持して牽制状態から抜け出した富田選手が2区手前から先頭を走る学連選抜を抜いてトッ

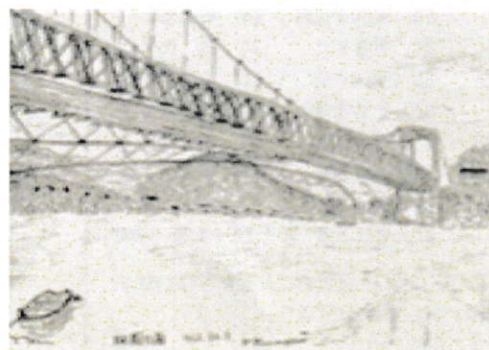
プに立ち、そのまま樺を主将の小澤選手に渡し、見事、区間賞を獲得。1区の走りでのまま行けると思われたが、やはり他校の選手の走りは凄く、徐々に順位を下げ、結果往路は12位でフィニッシュ。

復路でシード奪還を狙う走りを見せてほしいところ、山下り6区堀選手が区間8位の力走、7区杉選手が猛追を見せ、前を走る東洋大の選手を追い抜き、8区加藤選手も力走を見せ総合9位まで順位を押し上げましたが、9区下条選手の失速、アンカーの漆畑選手も思い通りの走りを見せられず、結果総合12位となりシードに届きませんでした。来年も予選会からのスタートとなりました。来年こそ「古豪から強豪へ」進化する明治をみせてほしいです。



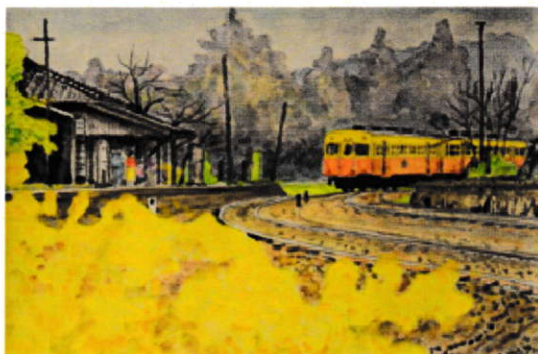
1区を力走する富田選手

趣味 鉛筆画



相模湖 (神奈川県)
熊谷 和彦 (S46 政経)

水彩画



小湊鉄道 (千葉県)
中山 雅雄 (S37 法)



‘魔女の瞳’ 五色沼(福島県一切経山山頂より)
高山 千佳歳 (S59 政経)



シヨクダイオオコンニヤク
秋山 隆敬 (S43 法)

会員ギャラリー
自慢の一葉⑬



タゲリ (伊勢原市)
矢場 岩男 (S43 商)



夕照の山稜
鶴田 勇雄 (S37 法)

令和4年度会費

令和5年2月28日現在

ご入金ありがとうございました!

1 秋山 隆敬	21 坂口 直	41 中山 雅雄
2 安中 彪	22 坂本 康彦	42 中山 属介
3 飯塚 貴哉	23 菅井 美沙子	43 鍋田 正直
4 石坂 朝雄	24 杉田 正男	44 西田 武文
5 石渡 敏夫	25 杉山 喬	45 萩原 利明
6 伊東 勝義	26 鈴木 一巳	46 橋本 大輝
7 今村 隆正	27 鈴木 達夫	47 浜崎 幸夫
8 岩永久佳	28 須藤 忠志	48 藤川 忠博
9 上春 貴	29 諏訪本 充弘	49 藤川 道子
10 榎田 成美	30 芹沢 壮光	50 藤原 輝雄
11 大倉 徹	31 平樂 直樹	51 萬井 洋一
12 岡 等	32 高橋 三郎	52 峯岸 正己
13 加藤 邦男	33 高山 千佳歳	53 村木 繁之
14 菊池 武信	34 田所 利之	54 森 和子
15 木村 敏文	35 筒井 直義	55 安波 節生
16 熊谷 和彦	36 鶴田 勇雄	56 矢場 岩男
17 小金 忠男	37 寺島 忠昭	57 山崎 直人
18 園分 篤	38 中川 政信	
19 坂井 靖三	39 長嶋 彰	
20 榊 つきみ	40 仲野 道子	(五十音順・敬称略)

今年度(R4.4.1~R5.3.31)会費のご入金を確認しました。
未納の方はお支払いをお願いいたします。
行き違いの場合はご容赦ください。

退会者
井上泰輔(S 42 文)
相澤慶太(H 26 ガバナンス)
磯部洋子(S 38 法)
松瀬貞規(S 41 工)
総会員数は80名(令和5年2月末現在)。会員相互の動静もお知らせください。

新入会員

鈴木達夫(S 33 工)
筒井直義(S 57 工)
橋本大輝(R 4 国際日本)

(順不同・敬称略)

会員の動静

編集後記

対面での校友会活動が出来ない中、会員唯一の絆が会報「紫紺」です。投稿下さった会員諸氏に謝意を表します。

今年度は校友会設立10周年です。10周年記念事業として、紫紺・記念誌「10年のあゆみ」の発刊を予定しています。また、5月27日(土)に対面での「定時総会・記念式典」の開催を計画しています。会食、ハーティ及び明大マンドリン倶楽部OB会のアンサンブル演奏会を予定しています。盛りだくさんの楽しい会を企画しています。

会員諸氏の多数のご参加をお待ちしております。(寺)